

所長だより第45号 平成28年5月6日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに 学んで世界の 明日を見る」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>

「平成28年度の出航にあたって」

【所長 青木 正士】



4月20日、「うみのこ」が米原市立坂田小学校、長浜市立湯田小学校の142名の子どもたち、そして皆さんの胸に抱いた大きな夢と希望を乗せ、今年度の航海をスタートしました。

平成28年度「湖の子」出航式を船内で行い、滋賀県教育委員会青木洋教育長様、米原市教育委員会山本太一教育長様、長浜市教育委員会井関真弓教育長職務代理様をはじめ御来賓の皆様方の御臨席のもと、今年度の児童学習航海全93航海の安全を祈念いたしました。

「うみのこ」就航から33年目となる今年度は、淀川流域を対象としてきた京都府・大阪府との交流航海を、近隣県に範囲を広げ岐阜県と奈良県を加えて「琵琶湖に学ぶ小学生交流航海」とし、7航海を実施することとなりました。また、昨年度から始めた親子体験航海も4航海を実施し、県外の方にも乗船いただくことにしています。広く県内外に「湖の子」での学習について御理解いただける機会になるようにと考えています。

さて、フローティングスクールでは、「かきくけ航海」を合言葉にして、探究的な学習が展開されるように取り組んでいます。「か」は、考える。「き」は、気づく。「く」は、工夫する。「け」は、継続する。「こ」は、行動する。「かきくけこ」の要素を事前学習から事後学習まで一貫した学習活動の中で有効に取り入れ、子どもたちが主体的に学べるようにと考えています。さらに、琵琶湖を舞台にして学んだことが、自分自身の有り方や自分の生活での実践へと発展していく、「つながり」のある環境教育を求めていきたいと考えています。また、これまでフローティングスクールでは、数多くの学習プログラムを開発し用意してきましたが、ねらいをもってそれらをつないでいくことにより、一層の充実・発展をめざして参ります。

琵琶湖上を進む「うみのこ」の船上から見る滋賀の風景は、その時々々の気象状況等により見え方が異なるものの、だれもがその雄大さや美しさに「感動」を覚えます。また、一緒に乗船する他校の友達と会話が弾み、ともに行動ができることは、この上ない「喜び」となります。このような日常では味わえない「感動や喜び」のある「湖の子」での体験であるからこそ、ここで学ぶ「びわ湖環境学習」は、頭で考えるだけでなく心や体ともつながりのあるスケールの大きな学びにできると思っています。

最後になりましたが、私、今年度滋賀県立びわ湖フローティングスクール所長として就任いたしました。微力ではありますが、一意専心努力する覚悟で取り組んで参ります。何卒、これまでと同様、滋賀県にお住まいの皆様、教育関係者の皆様の御協力・お力添えをいただきますようよろしくお願いいたしまして、平成28年度始めの御挨拶とさせていただきます。